

稲作だより ～ 第9号 ～

今後も高温の予報！！

「間断かん水」「飽水管理」で根の活力を維持!!

1 生育概況

表1 7月17日現在の生育状況 (作柄診断圃、農業技術普及課調べ)

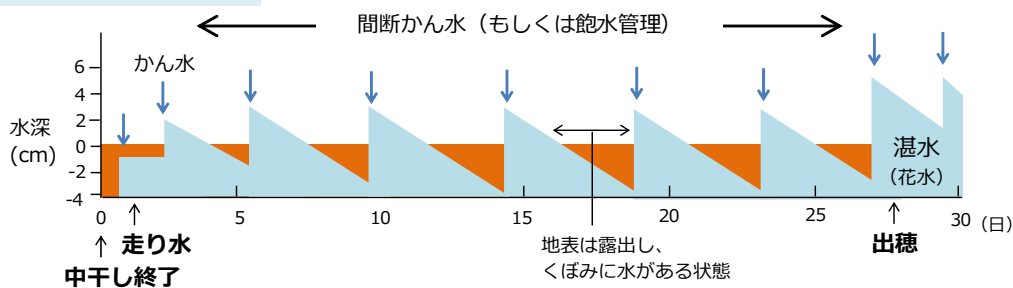
品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	出穂期 (予想)
はえぬき (尾花沢市尾花沢)	本年	60.1	537	11.0	41.1	(8/4)
	平年	65.7	539	11.1	39.4	8/4
	平年比・差	91	100	-0.1	+1.7	±0
つや姫 (村山市河島)	本年	62.2	575	11.5	37.6	(8/6)
	平年	65.4	557	11.2	38.3	8/9
	平年比・差	95	103	+0.3	-0.7	-3
雪若丸 (東根市野田)	本年	62.5	692	11.9	40.8	(8/1)
	平年	62.9	680	11.6	39.4	8/1
	平年比・差	99	102	+0.3	+1.4	±0

2 当面の技術対策

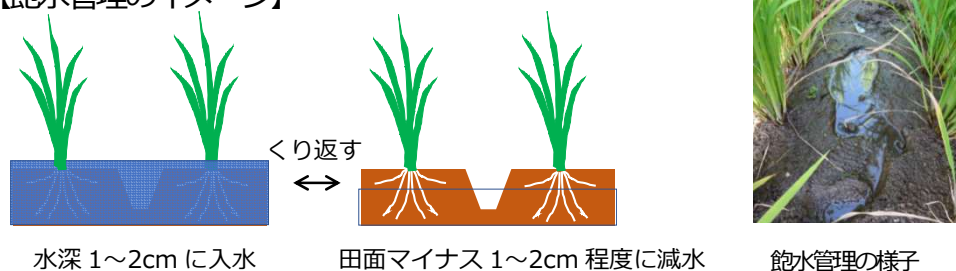
(1) 「間断かん水」や「飽水管理」で根の活力維持！

- ・中干しが終了後は、間断かん水・飽水管理に切り替えます。
- ・高温時は飽水管理（地表は露出し、くぼみに水がある状態を保つような水管理）とし、地温上昇を抑え、根の活力を維持するとともに節水にもつながります。高温時には積極的に取り組みましょう。

水管理のイメージ



【飽水管理のイメージ】



地表（田面）に水がないが、くぼみには溜まっていて、土壌が常に湿潤状態に保たれている

(2) ケイ酸追肥のススメ

ケイ酸追肥は暑い夏を乗り切るための有効な手段です。積極的に施用しましょう。

穂肥の
効果UP

ケイ酸資材の効果

- ・光合成量の増加・根の酸化力向上
- ・窒素・カリの吸収量増加
- ・耐病性の強化
- ・倒伏体制の強化

(3) 斑点米カメムシ類防除の徹底を

- ・斑点米カメムシ類の発生は多く、7月2日に注意報が発表されています。特にイネ科雑草が繁茂している畦畔、農道周辺では発生が多いので、地域ぐるみで一斉草刈を徹底し、斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょう。
- ・水田内のノビエ、イヌホタルイ等でも斑点米カメムシ類が増殖しやすいので、水田内に残った雑草対策も必要です。残草処理除草剤は使用時期（ステージや収穫前日数）に注意して使用しましょう。

(4) いもち病の早期発見・早期防除の徹底を

- ・今年も葉いもちの発生が確認されています。圃場をよく確認し、早期発見・早期防除に努めましょう。

(5) 農薬のドリフト（圃場外への飛散）に注意！！

- ・農薬を使用する際はドリフトに十分注意しましょう。特に、風の強い日はドリフトの危険性が高まります。風の弱い時間帯に散布を行いましょう。
- ・近隣圃場で水稻以外の作物が栽培されている場合や、特別栽培がおこなわれている場合は特に注意してください。

◎熱中症・農作業事故に注意！

気温の高い日が続きます！水分補給と休憩をこまめに取りましょう。